

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
77

季刊誌POWER 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 (令和6年8月20日発行)

SUMMER 2024

第13回 (通期第39回) 社員総会

令和6年6月14日(金) ホテルインターコンチネンタル東京ベイ

- 一、開会の辞 (公社)全国鉄筋工事業協会 副会長 新妻 尚祐
- 一、会長挨拶 (公社)全国鉄筋工事業協会 会長 岩田 正吾
- 一、令和6年度功労者表彰 (公社)全国鉄筋工事業協会会長賞 (敬称略)

氏名	会員名	会員役職	所属会社/役職
齋藤 健一	埼玉県鉄筋業協同組合	元理事長	サイトウスチール 代表
新保 和俊	石川県鉄筋業協同組合	専務理事	(株)新保鉄筋工業 代表取締役社長
竹花 道之	長野県鉄筋業協会	会長	マルゼン建鉄(株) 代表取締役社長
久野 鉄也	静岡県鉄筋業協同組合	副理事長	(株)久野鉄筋 代表取締役社長
大島 直樹	佐賀県鉄筋工事業協同組合	監事	(株)肥前溶圧 代表取締役社長

A. 議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告、並びに会計決算報告 承認の件
- 第2号議案 令和6年度事業計画、及び収支予算書 承認の件
- 第3号議案 役員交代 承認の件

- 一、閉会の辞 (公社)全国鉄筋工事業協会 副会長 飯島 勉
- 一、講演 45分

講師 師 国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課 課長 岩下 泰善 様

- 一、講演 30分

講師 師 建設技術者・技能労働者の将来推計と需給ギャップ
講師 師 一般財団法人建設経済研究所 特別研究理事 澁谷 慎一 様



岩田会長

総会

改正法の枠組み生かし処遇改善を

全鉄筋
全国鉄筋工事業協会(全鉄筋、岩田正吾会長)は14日、社員総会を東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開き、2024年度の事業計画と収支予算などを決めた。本年

社員総会懇親会

- 一、会長挨拶 (公社)全国鉄筋工事業協会 会長 岩田 正吾
- 一、御来賓挨拶 国土交通大臣 齊藤 鉄夫 様
- 自由民主党党務調査会長特別補佐 中山 泰秀 様
- 参議院議員 公明党 伊藤 孝江 様
- 厚生労働省・高齢・障害者雇用開発審議官 田中佐智子 様
- 一、乾杯 谷脇 暁 様
- (二財)建設業振興基金 理事長 田中佐智子 様
- 一、御来賓 紹介
- 一、退任理事 紹介
- 一、手締め (公社)全国鉄筋工事業協会 副会長 宮村 博良



齊藤鉄夫 国土交通大臣



伊藤孝江 参議院議員



中山泰秀 先生



谷脇 暁 建設業振興基金理事長



田中佐智子 厚生労働省審議官

度は登録鉄筋基幹技能者の資格付与や建設キャリアアップシステム(CCUS)の技能者評価、海外実習生の講習などを引き続き進めるとともに、10月6日に第5回全国鉄筋技能大会(ETSU-1 GRAND P)



冒頭、岩田会長は今回で建設業法や公共工事品質確保促進法などが改正されたことに触れ「建設業界の商取引が今後大きく変わる。いわば業界の歴史的な転換期となるだろう。この改正法をどう生かすかは、われわれ専門工事業次第。この改正法で元請企業と話し合う枠組みができた。し

っかりと現場の所長らと(価格)交渉してほしい」と呼び掛けた。さらに「(適正な請負金額を)もたらしたら技能者に払ってほしい。(適正な賃金を)払えばそれが設計労務単価に反映され、上昇バイラルになる。鉄筋業界が先兵隊となって、専門工事業界の処遇改善を引っ張っていきたい」と語った。写真。

社員総会 国土交通省講演資料

第三次・担い手3法（令和6年改正）の全体像

インフラ整備の担い手・地域の守り手である建設業等がその役割を果たし続けられるよう、**担い手確保・生産性向上・地域における対応力強化**を目的に、**担い手3法**を改正

	議員立法 公共工物品質確保法等の改正	政府提出 建設業法・公共工事入札適正化法の改正
担い手確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 賃金支払いの実態の把握、必要な施策 ● 能力に応じた処遇 ● 多様な人材の雇用管理の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ● 標準労務費の確保と行き渡り ● 建設業者による処遇確保
生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● スライド条項の適切な活用（変更契約） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資材高騰等分の転嫁円滑化 - 契約書記載事項 - 受注者の申出、誠実協議
地域における対応力強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 休日確保の促進 ● 学校との連携・広報 ● 災害等の特別な事情を踏まえた予定価格 ● 測量資格の柔軟化【測量法改正】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工期ダンピング防止の強化 ● 工期変更の円滑化
	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT活用（データ活用・データ引継ぎ） ● 新技術の予定価格への反映・活用 ● 技術開発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT指針、現場管理の効率化 ● 現場技術者の配置合理化
	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な入札条件等による発注 ● 災害対応力の強化（J/V方式・労災保険加入） ● 発注担当職員の育成 ● 広域的な維持管理 ● 国からの助言・助言【入札法改正】 	<p>（参考）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共工物品質確保法等の改正 ○ 公共工事を対象に、よりよい取組を促進（トップアップ） ○ 誘導的手法（理念、責務規定） ○ 建設業法・公共工事入札適正化法の改正 ○ 民間工事を含め最低限ルールの底上げ（ボトムアップ） ○ 規制的手法など

●建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の一部を改正する法律
令和6年6月14日公布

背景・必要性

- 建設業は、他産業より賃金が低く、就労時間も長いため、**担い手の確保が困難**。

（参考1）建設業の賃金と労働時間
 建設業※ 417万円/年（▲15.6%） 2,022時間/年
 全産業 494万円/年（▲1.5%） 1,954時間/年（+3.5%）

（参考2）建設業就業者数と全産業に占める割合（'24年）
 [H9] 685万人（10.4%）⇒ [R4] 479万人（7.1%）

建設業が「地域の守り手」等の役割を果たしていけるよう、**時間外労働規制等にも対応しつつ、処遇改善、働き方改革、生産性向上**に取り組む必要。

↓
担い手の確保
 ↓
持続可能な建設業へ

概要

1. 労働者の処遇改善

○労働者の**処遇確保**を建設業者に**努力義務化**
 ⇒国は、取組状況を調査・公表、中央建設業審議会へ報告

○**標準労務費の助言**
 ・中央建設業審議会が「**労務費の基準**」を作成・助言

○**適正な労務費等の確保と行き渡り**
 ・著しく低い労務費等による見積りや見積り依頼を**禁止**
 ⇒国土交通大臣等は、違反発注者に**助言・公表**（違反建設業者には、現行規定により指導監督）

○**原価割れ契約の禁止**を受注者にも導入

2. 資材高騰に伴う労務費へのしわ寄せ防止

○**契約前のルール**
 ・資材高騰など請負額に影響を及ぼす事象（リスク）の情報は、受注者から注文者に**提供**するよう義務化
 ・資材が高騰した際の**請負代金**等の「**変更方法**」を**契約書記載事項**として明確化

○**契約後のルール**
 ・資材高騰が顕在化した場合に、受注者が「**変更方法**」に従って**契約変更協議**を申し出たときは、注文者は、**誠実に協議**に応じる**努力義務**※ ※公共工事発注者は、誠実に協議に応ずる義務

3. 働き方改革と生産性向上

○**長時間労働の抑制**
 ・**工期ダンピング対策**を強化
 （著しく短い工期による契約締結を受注者にも禁止）

○**ICTを活用した生産性の向上**
 ・**現場技術者に係る専任義務を合理化**（例、遠隔通信の活用）
 ・国が現場管理の「**指針**」を作成（例、元下間でデータ共有）
 ⇒特定建設業者や公共工事受注者に**効率的な現場管理を努力義務化** ※多くの下請業者を使う建設業者
 ・公共工事発注者への**施工体制台帳の提出義務を合理化**（ICTの活用で施工体制を確認できれば提出を省略可）

【目標・効果】
 ・全産業を上回る賃金上昇率の達成（2024～2029年度）
 （KPI）
 ・技能者と技術者の週休2日の割合を原則100%（2029年度）

公共工物品質確保の促進に関する法律等の一部を改正する法律 概要

インフラ整備の担い手・地域の守り手である建設業等がその役割を果たし続けられるため、以下の喫緊の課題の解消に取り組む必要

担い手確保	地域建設業等の維持	生産性向上
働き方改革・処遇改善の推進、適切な価格転嫁	適切な入札条件等での発注、災害対応力の強化	新技術の活用促進、技術開発推進
公共工事等の発注体制の強化		

これらの課題に対し、公共工事から取組を加速化・牽引することで、将来にわたる公共工物品質確保・持続可能な建設業等を実現

改正の概要

- 担い手の確保のための働き方改革・処遇改善**
 休日の確保の推進（基本理念-国・地方公共団体-受注者）
 ・国が実態を把握・公表し、施策の策定・実施
 ・自治体内の関係部局が連携した標準化の促進
 処遇改善の推進（国-発注者-受注者）
 ・労務費・賃金の支払実態を国が把握・公表し、施策を策定・実施
 ・能力に応じた適切な処遇の確保
 ・適切な価格転嫁対策による労務費へのしわ寄せ防止
 ※ スライド条項の設定、運用基準の策定、適切な代金変更
担い手確保のための環境整備（国-地方公共団体-受注者）
 ・担い手の中長期的な育成・確保に必要な措置の実施
 ※ 訓練費支援、学校と連携した連携、外国人など多様な人材確保
 ・品質確保や担い手の活動につき国民の関心を深める広報活動
 ・担い手確保に留意した調査等に係る資格等の評価・運用の検討
- 地域建設業等の維持に向けた環境整備**
 適切な入札条件等での発注の推進（発注者）
 ・地域の実情を踏まえた適切な条件・発注規模等による発注等
 災害対応力の強化（受注者-発注者）
 ・災害対応経験者による被害把握
 ・技術力ある業者と地域の業者が連携した迅速復旧、技術移転等
 ・災害工事で労災保険契約の締結促進、予定価格への反映
- 新技術の活用等による生産性向上**
 新技術の活用・脱炭素化の促進（基本理念-発注者）
 ・調査等や発注から維持管理までのICT活用（データ連携、データ共有）
 ・脱炭素化の促進、新技術活用の適切な評価、予定価格への反映
技術開発の推進（国）
 ・技術開発の継続的な推進、民間事業者間の連携促進

4. 公共工事の発注体制の強化

発注者への支援充実（国-地方公共団体）
 ・発注職員の育成支援、発注事務の実態把握・助言
 ・維持管理を広域的に行うための連携体制構築

入札契約の適正化に係る実効確保（国）
 ・国が定める入札契約適正化指針の記載事項に「発注体制の整備」を追加
 ・指針に即した措置の実施を発注者に助言・助言

測量業の担い手確保
 ・測量士等の確保（養成施設や資格に係る要件の柔軟化、資格の在り方の検討規定）
 ・測量業の登録に係る暴力団排除規定等



早期実現目指し 現場の声を代弁

建設業法一括改正案
 衆院国土交通委員会
 衆院国土交通委員会で行われた「写真、招致された建設業専門団体連合会（建設業連）会長の岩田正吾氏、東京大学工学系研究科社会基盤学専攻教授の堀田昌英氏、全建設連書記長の勝野圭司氏、上智大学法学部教授の植茂樹氏はそれぞれの立場から法改正の意義や妥当性を強調。その上で新たな法規制の実効性の確保や運用上の留意事項などで意見を表明した。

岩田氏は、現場の技能者らの声を代弁し「標準労務費」をベースに適正な労務費、賃金が支払われる環境の早期実現を強く訴えた。衆院国土交通委員では22日に野党による質疑が行われ、公共工物品質確保促進法（公共工物品質確保法）など改正案が議員立法として提案される見通し。

日刊建設工業新聞 2024年5月22日

日刊建設工業新聞2024年6月5日

国民理解醸成、Gメン拡充も

岩田氏は、民間工事で労務費などの行き渡りを担保するチェック体制や民間発注者の理解醸成への働きかけを求め、同日の参院国土交通委員会で、与野党による質疑を6日に実施した。

参院国土交委で参考人質疑

建設業法と公共工事入札契約適正化法（入札法）の一括改正案の国会審議が本格的に進んでいる。参院国土交通委員会で4日に参考人の意見陳述と質疑が行われ、招致された3氏とも現場の下請、技能者に近い立場から、国が示す「標準労務費」に基づく適正な労務費、賃金の行き渡りに強い期待を表明。技能者らの賃上げに国民の理解を得る機運づくりや、取引実態の把握調査・指導に当たる「建設Gメン」の体制拡充を国に求めた。

岩田氏は、民間工事で労務費などの行き渡りを担保するチェック体制や民間発注者の理解醸成への働きかけを求め、同日の参院国土交通委員会で、与野党による質疑を6日に実施した。

業界発展に全鉄筋の役員として、
 長きにわたる多大なご貢献に感謝いたします。
 お疲れ様でございました。

ご退任役員

理事 菅井 文明 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 前専務理事

ご就任役員

理事 加賀美 武 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 専務理事

(敬称略)

労働者を競争の原資としなが...
 い現状を引き継いでいくな...
 ら「来年年度以降さらなる...
 の決意を述べた。さらには、...
 職上へのしわ寄せを懸念し、...
 運上りへの懸念を述べた。

小原氏は、標準労務費を...
 ベースに適正な賃金を確保す...
 る現場に示す必要を述べた...
 りながら、Gメンの活用を...
 る重要性を強調した。「建設...
 の産業現場を考慮すると建設...
 Gメンの体制は多少心もと...
 ない」と話し、建設業界は...
 り従事者数が少ないという...
 ラック業界の「トラックG...
 た」と話し、法改正による...
 再長との交渉の場とし、



令和六年 国土交通大臣表彰



武田 美治様

(公社)全国鉄筋工事業協会 元副会長
香川県鉄筋業協同組合 理事長
武田建設株式会社 代表取締役会長

令和六年 春の叙勲受賞

神田 幸夫 様

(公社)全国鉄筋工事業協会 理事
新潟県鉄筋業協同組合 理事長
神田鉄筋工業株式会社 代表取締役

宮田 洋志 様

熊本県鉄筋工事業協同組合 理事長
宮田鉄筋工業株式会社 代表取締役

大港 成人 様

協同組合東京鉄筋工業協会 副理事長
大港鉄筋株式会社 代表取締役社長



鉄筋基礎 (7)

入校式

開催日 2024年4月15日(月)
場 所 富士教育訓練センター
参加者数 14名

組合紹介

愛知鉄筋業協同組合

愛知鉄筋業協同組合は、昭和49年から組合活動を始め、今年50周年の節目の年を迎えることになりました。当組合の運営に携わってくださった方、ご支援頂きました皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。また組合の礎を築いた先輩方に感謝するとともに設立当初から変わることのない想いを大切にして、次の世代に繋げて行けるよう活動して行きたいと思っております。

日本の鉄筋工事の品質は、世界トップクラスだと思っております。地震が多く起こる日本では、鉄筋工事は建物の安全性と耐震性能を確保するために不可欠です。鉄筋工事は、人命を守り、資産を保護し、社会全体の防災力を高める上で極めて重要な役割を果たしていると思っております。全国鉄筋工事業協会として建設業における問題である人材確保を推し進め、日本の鉄筋施工品質を守り高め、次世代に伝承していくことが組合の使命のひとつと考えています。

昨今、就業者の高齢化が進み、若年技能者不足や技能の継承・人材育成が大きな課題となっております。この課題は、どの地域も共通で深刻な問題だと思っております。

これからを担う若い人たちに鉄筋工事の魅力や重要性を理解してもらいにはどうしたら伝わるのでしょうか。鉄筋工事の魅力は、「技術の優れた技能者が協力して人々が安全に生活する建物を完成させる達成感」だと思っております。この魅力を伝えられない理由として、業界への理解不足と業界のPR活動不足が考えられます。学校教育では建設業について、特に社会インフラに欠かせない鉄筋工事の情報が不足しているように思われます。若者が職業の選択肢として鉄筋工事を考える機会が少ないのではないのでしょうか。またこの仕事の魅力ややりがい効果的に伝えるプロモーションも大切だと思っております。

当組合では、合同体験フェア・学校での出前講習など広報活動に力を入れていま

す。今年5月に高校生対象に鉄筋技能士3級講習を名古屋高等技術専門学校で開催しました。又翌週には、建設専門工事業合同体験フェアに参加して鉄筋工事のブースを設けました。多くの高校生に参加してもらいました。最近では、現場でも若者が少なくなってきましたので、会場でも多くの高校生のパワーに圧倒されそうでした。鉄筋工事の魅力について「楽しく・いかに興味を持ってもらうか」説明方法も工夫を重ねています。当初は、ハッカーと結束線を渡して鉄筋を結束してもらったのですが、最近では、チームを作りタイムを計ることや自動結束機を使って機械化をアピールしています。高校生たちは、ハッカーで結束する時より、自動結束機で結束している時の方が目を輝かせていたように思いました。伝える側が「工夫して伝える」ことがとても大切であると感じました。当組合としては、今後も鉄筋工事の魅力を伝える工夫を重ね広報活動を継続して行きたいと思っております。

今年、11月8日に全国鉄筋工事業協会の秋季定例会が愛知で開催されることとなりました。愛知県は、「なごやめし」など独特な食文化があります。代表的な「味噌カツ」「ひつまぶし」「台湾ラーメン」「あんかけスパ」などは、「ご存じの方も多くいると思っております。この「なごやめし」という言葉が全国に広がったきっかけは、平成17年(2005年)愛知県で開催された「愛・地球博」愛知万博からだという説があります。鉄筋工事業界は、人材確保の他にも「働き方改革」「現場の4週8閉所」「適正賃金の確保」など多くの課題を抱えています。この課題に取り組み、鉄筋工事業の未来へ進化させる時期だと思っております。愛知で開催される秋季定例会が全国の鉄筋工事に携わる皆さまにきっかけになることを願っています。

「なごやめし」につきましては、有名店も多くありますので当組合員にお尋ね頂ければご紹介できると思っております。秋季定例会にお越しの際は、是非食べてみてください。多くの皆さまのご参加お待ちしております。



【標準装備機能】

- ・SD490 D16~D41に対応
- ・寸法・角度設定ともにNC制御

【オプション機能】

- ・本数カウント装置
- ・QRコードリーダー
- ・BVBS形式コードにも対応
- ⇒入力ミスなどのヒューマンエラーを解消！
- 対応機種、順次拡大中！

NEWモデル
主筋自動曲装置 BSI-41Y4-V



Gorilla
製品動画



鉄筋加工機のことならなんでもご相談ください！

TLINKSサービスのご紹介



東陽建設工機株式会社

本社 〒551-0002 大阪府大阪市大正区三軒家東2-4-15
TEL 06-6552-0341 / FAX 06-6553-6695

営業所 ▶ 仙台営業所 ▶ 東京営業部 ▶ 名古屋営業所 ▶ 大阪営業部
▶ 広島営業所 ▶ 福岡営業部 ▶ 海外営業部

★詳しくは弊社HPまで▶






デーバーインフォメーションネットワークス株式会社

積算

図面

加工

連携！

DINCAD(ディンキャド)とは

CADを用いた納まり図や配筋図の作成をサポートするソフトです。対応のCADソフトをベースに100種以上の便利な機能を網羅。

また、CAD上で作成した鉄筋施工図から必要な部分を選択するだけで「加工帳入力システム」に転送。

毎日の拾い出し作業が**劇的に速く**なります！

鉄筋自動計算ソフト「DIN積算システム」は仕様・躯体情報などから鉄筋施工図を自動作成。CADに施工図を出力できます。

弊社ソフトはすべてバージョンアップ無料！

■対応CADソフト
AutoCAD/IJCAD PRO/ZWCAD/BricsCAD
*CADソフトは別売です。

お問い合わせ
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町15-18
EDGE小伝馬町ビル2階
TEL:03-6661-1593 FAX:03-6661-9606
Mail:info@di-networks.jp



お客様の声

業務効率が断然上がった！

もうDINCADなしでは仕事できない！

などご好評いただいております！

その他にも初心者CAD講習無料受付中！
*ただし3~8名様までに限ります。

ホームページ



YouTube



マックスは1942年、当時、最高水準の金属加工技術が必要とされていた航空機部品のメーカーとして創業し、ここで培ったプレス技術や線材加工技術を強みに、ホッチキスや建築・建設工具を中心にユニークな製品を展開し、多くのトップシェア、世界初、国産初の製品を世に送り出しています。

マックスは、一歩だけでも働きやすい現場を—そんな想いから1993年に世界初の充電式鉄筋結束機を発売。以来、様々な改良を重ね、2017年に「ツインタイア」を発売、2023年12月には機構を一新した新モデルを発売しました。1結束当たりスピード約0.5秒と、鉄筋組立の生産性向上に貢献します。

発売から30年、鉄筋結束機は、国内にとどまらず、欧米の建設現場、プレキャストコンクリート工場などでも急速に普及しています。マックスは、これからも「使う人が満足するモノづくり」にこだわり、お客様の役に立つ製品を提供していきます。



〈2023年12月発売 ツインタイア新モデル〉

MAX マックス鉄筋結束機

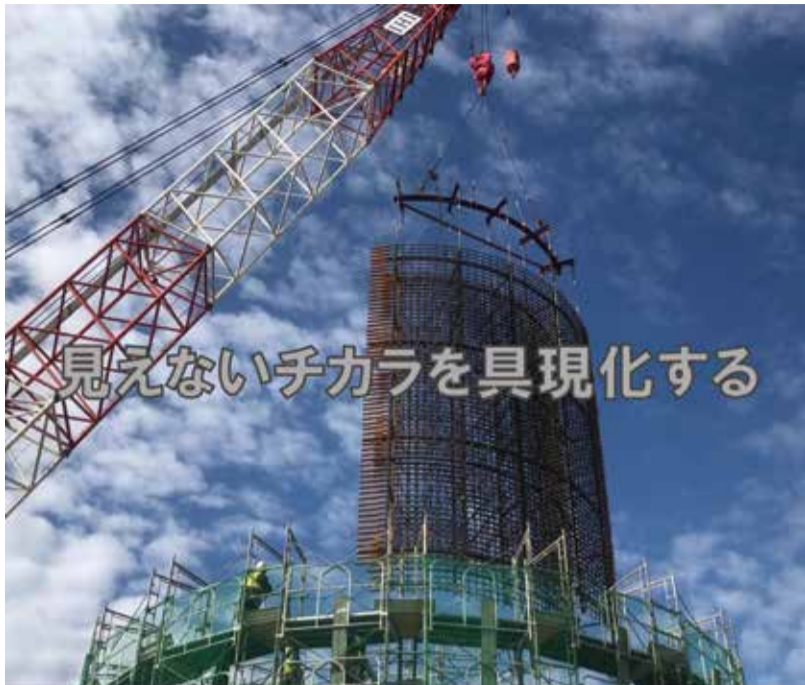
株式会社 オグラ

昭和3年品川に工作機械のアタッチメント製造販売として創業し、まもなく創業100年を迎えます。現在では鉄筋カッター、鉄筋ベンダーを中心とした油圧機器製造販売を行っております。小型・軽量・耐久性・高機能を製品の軸心にする課題解決機器の開発を着々と進めております。ユーザー様第一主義を堅持し優れてかつ個性を訴求できる製品の供給と安心できるアフターサービスを提供し鉄筋業界に貢献してまいります。




本社：神奈川県海老名市本郷2661
札幌出張所：札幌市白石区菊水7条4-2-1
電話 011 (837) 5811
仙台営業所：仙台市若林区遠見塚東14-8
電話 022 (282) 1055
東京支店：東京都大田区蒲田4-39-9
電話 03 (3734) 8211
名古屋営業所：名古屋市守山区元郷2-908
電話 052 (768) 2477
大阪支店：大阪市西区千代崎2-3-7
電話06 (6584) 2091
高松出張所：高松市牟礼町牟礼3096-3
電話087 (845) 3324
福岡営業所：福岡県大野城市仲畑2-9-36
電話092 (573) 3365

求められる
Ogura
— www.ogura-web.com —



見えないチカラを具現化する

創業1965年、建設資材を製造販売する株式会社京都スペーサーは、各種スペーサーの製造において豊富な経験と優れた技術力に加え迅速なデリバリーにより、皆様に信頼されるパートナーとして貢献できるよう、確かな品質とサービスをご提供致します。

KS 株式会社 **京都スペーサー**



直角に！ 平滑に！
現場で高速切断！

鉄筋冷間直角切断機

ダイヤソーのダイヤです！



当社は、まもなく創立60年をむかえます
いままでもこれからもダイヤは、
ものづくりで現場を応援します！

DAIA 株式会社 **ダイヤ** <http://www.daiia-net.co.jp>

本社 〒484-0965
愛知県犬山市字下榎島33番地 TEL 0568-67-6136
□東京支店 □仙台営業所 □名古屋営業所 □大阪営業所 □福岡営業所



人と共に働く自走型協働ロボット
鉄筋結束トモロボ



- 土間・スラブなどの単純な結束作業を自動化
- 市販の結束機を取り付けるだけ
- 1カ所あたり2.0秒で結束し、8時間稼働で10,400カ所の結束が可能

建設資材搬送ロボット
運搬トモロボT-BOX

- 軽量小型のロボが500kgの資材を運搬可能
- 専用レール走行のため、現場の様々な地形に対応
- 運搬する資材に合わせて、台車をセレクト可能



建ロボテック
KEN・ROBOTECH

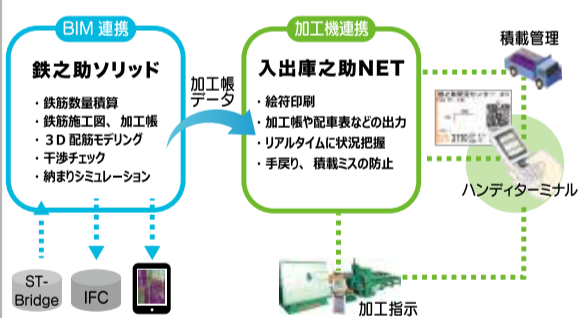
「世界一ひとにやさしい現場を創る」をミッションに、元鉄筋職人の創業者が設立した、特化型研究開発企業です。現場に対応した省力化ソリューションを開発・提供しています。

本社：香川県木田郡三木町上高岡246-2
お問合せ:support@kerobo-tech.com

会社HP



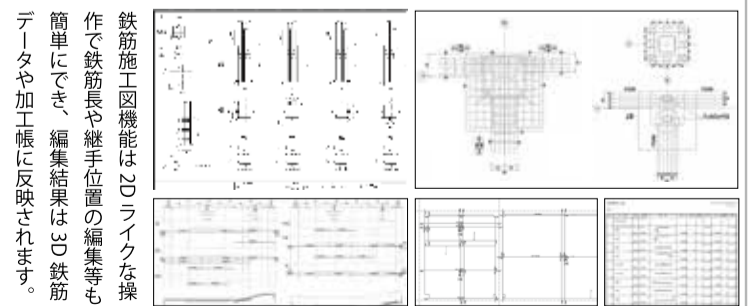
鉄筋DX デジタルトランスフォーメーションを支援します



鉄筋総合ソフト
鉄之助



アーキテックの「鉄之助」シリーズ製品は鉄筋業務の全般をサポートします。シミュレーション型積算システム「鉄之助ソリッド」及びリアルタイム鉄筋在庫管理システム「入出庫之助NET」は、BIMとの連携、鉄筋加工機との連携を実現し、鉄筋業務のデジタル化を推進します。



鉄筋施工図機能はクリックな操作で鉄筋長や継手位置の編集等も簡単にでき、編集結果は3D鉄筋データや加工帳に反映されます。

EIKO

栄光マシーンセンターの商品はいつも職人さんの声から生まれます。

私たちは日々、現場や加工場に訪問をして、職人さんと会い話をしています。その中で困っていること、苦勞していることを見聞きして、想いを同じくし「私たちに何ができるか。」を考え、形にしてきました。

明日の鉄筋業界に貢献する

おかげさまで創業五十余年、これからも変わらず現場に寄り添い、皆さまと共に歩んでまいります。

鉄筋業界から必要とされる企業であり続けるために。

鉄筋機械工具総合商社
栄光マシーンセンター株式会社

手書き加工帳読取り リードマン

株式会社 中部建設 御中
工事名 PCSビル新築工事
総重量 355 t 026 Kg

品名	数量	単位	重量
D 10 SD295A	3.5	765	1.496
D 13 SD295A	3.6	3,209	11,585
	4.0	292	632
	4.5	1,110	2,797
	5.0	482	1,252
	5.5	677	1,931

加工帳を
スキャナで読取り

速く正確に
集計表とエフを作成

培った技術をカタチにする

鉄筋一筋に 30 年。多くのお客様と永くお付き合いさせていただく中で得られた鉄筋業のノウハウを活かし、システム開発、サービスの提供を行っています。弊社のシステムは、どなたにでも扱いやすい簡単な操作を特長としています。

時代の変化に伴い、鉄筋業界にも提出資料の多様化、スピーディーな対応が求められています。業務拡大や効率化をお考えの方、PCS が全力でサポートいたします。

鉄筋業のトータルなシステムを創り出す
PCS 「鉄筋積算まことシステム」の
有限会社ピーシーエス

鉄筋工事・管理業務をDX

6年連続シェア
No.1

利用社数 **20** 万社
ユーザー数 **51** 万人

社内と現場を繋ぐ、施工管理のプラットフォーム

ANDPAD

ANDPADの活用メリット

- メリット1 番頭さん・職長さんとの「言った・言わない」を防止
- メリット2 リアルタイムかつ履歴の残る情報共有
- メリット3 加工帳のやりとりもミスなくスムーズに
- メリット4 人工計画や人員の配置管理をラクに

※「建設業マネジメントクラウドサービス市場の動向とベンダシェア(ミックITリポート2023年10月号)」(デロイトトーマツミック経済研究所調べ)

株式会社アンドパッド ご質問・ご相談は、お電話またはメールにてご連絡ください。

03-6831-4551 info@andpad.jp 営業時間 平日 10:00-19:00

- 編集委員**
- 委員長 岑 直樹(宮城)
副委員長 宮本ゆり子(山口)
- 木浪 裕子(北海道) 矢竹 直司(東鉄協)
工藤 桂一(神奈川) 松本 勝(静岡)
田浦 真一(関西) 赤澤 栄徳(香川)
- 女性活躍推進(兼任除く)**
- 皆川 則子(北海道) 斎藤 淑江(東鉄協)
駒井 真里(神奈川)

編集後記

先日、「若者から選ばれる左官屋さん」に関する記事を読んだ。左官業界の高齢化は鉄筋工事業よりも激しく、平均年齢が65歳を超えるという。そんな中、毎年3〜5名の新入社員が入社してくる左官屋さんがある。その理由の一つが人材育成システムにあるといわれている。新人が入社してきても長続きせず、すぐにやめてしまう最大の理由は「見て盗んで覚えろ」という職人特有の考え方にある。やる気がある若者に掃除ばかりをさせ、技術をつかむきっかけを失わせてしまうと、自分はこの職業に向いてないと思ってしまう。

そこで取り入れられたのが「モデリング訓練」といわれるものだ。一流の職人の仕事のやり方を映像で見ながら、その動きを真似る。お手本の映像と自分が塗っている映像を比べ、違いを修正していくというものだ。入社して1ヵ月間は徹底してこれを繰り返して、体での動きを身につける。その後は特定の先輩について半年学び、4年の修業を経て、5年目から職人の仲間入りをする。

その際、ホテルの宴会場などで家族も呼んでみんなでお祝いをして、入社から社員の成長が記された「軌跡」というタイトルのフォトブックをプレゼントしている。社員を温かくみんなで見守りながら育成するシステム、これが採用活動に繋がっているという。

この記事を読んで感じたことは、モデリング訓練という手法だけがあっても、採用や早期退職の減少にはつながっていないだろうということだ。社員の成長を「みんなで」「温かく」「見守る」、つまり全員が新入社員にトコトン関心を持ちながら育成していくという企業風土が必要だということだ。

今後、職人育成のスピードや質が問われる時代がやってくる。その際、育成の仕組みだけを整えるのではなく、長い時間をかけて醸成される企業風土の改善も必要になる。早いうちに手を付けた会社が残る、そう感じた。

工藤 桂一